

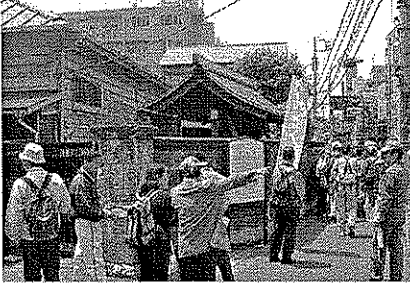
ヨコハマ市民まち普請事業
 第2次整備提案書

1 整備提案の概要

整備提案名	東海道保土ヶ谷宿 松並木・一里塚等再創造プロジェクト																											
提案グループ名	保土ヶ谷宿四百倶楽部、 東海道保土ヶ谷宿 松並木プロムナード実行委員会																											
整備したい場所	横浜市保土ヶ谷区 保土ヶ谷町2丁目 (丁目まで記入下さい。詳細な番地は必要ありません)																											
想定整備費用と整備助成申請予定額	想定整備費用 520万円 整備助成申請予定額 500万円																											
整備したい施設の概要	旧・東海道保土ヶ谷宿付近で行われている、国道1号拡幅工事、今井川の河川改修工事により創出される良好な公共空間において、 東海道を象徴する松並木や一里塚を区民の手により再創造 する。 そこを地域を代表する新しい “歴史まち歩きスポット” として位置付け、各種イベント会場等として広く活用していきたい。																											
設計及び工事のスケジュール (設計、工事発注、完了時期など) 注1)	<table> <tr> <th></th> <th>整備スケジュール</th> <th>会合等</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>平成18年 1月 2月 3月</td> <td>設計期間</td> <td>・ワークショップ ・ワークショップ</td> <td rowspan="3">河川改修工事</td> </tr> <tr> <td>4月 5月 6月</td> <td>整備助成金交付申請</td> <td>★委員会定例会</td> </tr> <tr> <td>7月 8月 9月</td> <td></td> <td>★委員会定例会</td> </tr> <tr> <td>10月 11月 12月</td> <td>工事期間 完 成</td> <td>★委員会定例会</td> <td rowspan="3">道路拡幅工事</td> </tr> <tr> <td>平成19年 1月 2月 3月</td> <td></td> <td>★愛護会設立準備</td> </tr> <tr> <td>4月 5月</td> <td>●完成イベント ●街道ウォークの開催</td> <td>★愛護会設立</td> </tr> </table>					整備スケジュール	会合等	備 考	平成18年 1月 2月 3月	設計期間	・ワークショップ ・ワークショップ	河川改修工事	4月 5月 6月	整備助成金交付申請	★委員会定例会	7月 8月 9月		★委員会定例会	10月 11月 12月	工事期間 完 成	★委員会定例会	道路拡幅工事	平成19年 1月 2月 3月		★愛護会設立準備	4月 5月	●完成イベント ●街道ウォークの開催	★愛護会設立
	整備スケジュール	会合等	備 考																									
平成18年 1月 2月 3月	設計期間	・ワークショップ ・ワークショップ	河川改修工事																									
4月 5月 6月	整備助成金交付申請	★委員会定例会																										
7月 8月 9月		★委員会定例会																										
10月 11月 12月	工事期間 完 成	★委員会定例会	道路拡幅工事																									
平成19年 1月 2月 3月		★愛護会設立準備																										
4月 5月	●完成イベント ●街道ウォークの開催	★愛護会設立																										
維持管理の方法	区民による管理組織として、『(仮称)保土ヶ谷宿松並木愛護会』を松並木の植樹完了時期(平成19年4月)にあわせて設立し、松並木を軸とする本プロジェクトの整備対象エリアの簡易な維持・管理を行う。 メンバー：地元自治会、地元小中学生等、地元幼稚園おやじの会、市民活動団体 他 管理内容：掃除、下草、花木植込み etc																											

注1) 工事完了後、横浜市が完了検査を実施します。また、必要に応じて中間検査を実施する場合があります。

2 公共性について

提案の背景にある地域の課題やニーズについて、記入してください。	旧・東海道保土ヶ谷宿を擁する保土ヶ谷区では、近年、市民活動団体が主体となって東海道を軸とした保土ヶ谷宿の歴史・文化の紹介や歴史まちづくり系のイベントを開催するなど、地域の歴史的資源を活かしたまちづくり気運が高まっている。 松並木プロムナードの整備対象エリア(現在、国道1号拡幅工事及び今井川の河川改修工事が行われているエリア)は、旧・東海道保土ヶ谷宿の上方見附や一里塚があったといわれている場所を包括しており、また、近隣の保土ヶ谷本陣、脇本陣跡においては現在も瀟洒な建物で人目を引くという、今日において保土ヶ谷宿の名残を色濃く残す重要な場所である。 そうした歴史的に重要な意味を持つエリアの景観が、今回の道路、河川工事により一変するこの機会に、保土ヶ谷区の“歴史・文化的景観”を区民の手で再創造したいという意欲が高まっている。
整備したい施設が、どのような人たちに利用され、また地域でどのように役立つと考えますか？	・ 街道ウォーク祭りの拠点スポットとして ⇒H17.5.14、約3,000人が参加。(JR駅からウォークと併催) ・ 保土ヶ谷宿ガイドコース内の拠点スポットとして ⇒『ほどがやガイドボランティアの会』のガイド利用者：約2,000人/年 ・ 快適で安全な歩行者空間(通学路)として ⇒瀬戸ヶ谷小学校、岩崎小学校らの児童数百人が利用。 ・ 近隣小中学校などの総合学習の場(東海道をテーマとした野外授業の場)として ⇒岩崎小学校・岩崎中学校などでは、既に東海道をテーマとした歴史授業を行っている。   ▲地元小学生に東海道の歴史についての講演を行う本会のメンバー ▲平成17年 街道ウォーク祭りの拠点スポット(保土ヶ谷本陣跡) ・ (仮称)イチハツ祭りの会場として ⇒区民による下花草(イチハツ等)の植込み(植替え)をイベント化 ・ 箱根駅伝の新応援名所として

3 創意工夫について

整備したい施設について、計画上創意工夫している点を記入してください。	（公共事業との一体整備により完成） まち普請事業で松並木プロムナードの整備を行い、同一エリアで行われている公共事業（国道1号拡幅工事・今井川の河川改修工事の整備範囲内）においては、地域の歴史的景観や松並木プロムナードとマッチするような整備を要望する。 同一エリアにおいて、松並木プロムナード（まち普請事業／区民主体）と公共事業が一体的に整備されることで、旧・東海道保土ヶ谷宿の新景観が再創造される。 （効果的・段階的な植樹計画の考え方） 交差点部など、特に目を引くポイントとなるところには、クロマツの“半仕立てもの”を3本程度植え、その他の一般部はクロマツの“野木”（高さ3m程度）を植えることで、初期の整備コストを抑える。 松並木プロムナードは、松並木の植樹完了時期がスタートであり、区民が主体となって世代を超えて守り育てていき、数十年後、野木が立派に成熟したとき地域を代表する歴史的景観が形成される。																								
整備工事における地域での費用や労力の負担について、創意工夫している点を記入してください。	（区民の手でできることは自らやる） ・ 近隣の竹林から竹垣用の竹を伐採、運搬し、一里塚及び植栽帯の土留め竹垣づくりを行う。 ・ 下草花（イチハツ・スイセン等）や芝の植付けを行う。																								
整備後の維持管理における地域での関わり方について、創意工夫している点を記入してください。	（地域をあげた管理組織を立ち上げ、世代を超えて管理にあたる） ・ 本提案を行っている『保土ヶ谷宿 松並木プロムナード実行委員会』が母体となって、松並木を含む本整備の対象エリアの維持・管理を専門に行う組織『（仮称）保土ヶ谷宿松並木愛護会』を立ち上げ、地域ぐるみで維持・管理にあたる。 ◆管理項目と作業分担（案） <table><tr><th></th><th>イチハツ・スイセンの植込み</th><th>灌 水</th><th>除 草</th><th>掃 除</th><th>こも巻き取り外し</th></tr><tr><td>地元自治会</td><td>○ イベント化</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○ イベント化</td></tr><tr><td>地元小中学校等</td><td>◎ イベント化</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>◎ イベント化</td></tr><tr><td>市民活動団体</td><td>○ イベント化</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○ イベント化</td></tr></table> 《愛護会メンバー構成（平成17年11月時点）》 ・ 地元自治会：保土ヶ谷町1・2丁目自治会、元町自治会 ・ 地元小中学校等：岩崎小学校、瀬戸ヶ谷小学校、権太坂小学校、保土ヶ谷小学校、岩崎中学校、初音ヶ丘幼稚園、地元幼稚園おやじの会 ・ 市民活動団体：保土ヶ谷宿400倶楽部、ほどがや協働まちづくり工房、ほどがやガイドボランティアの会 《管理計画》 ・ 定期管理：月1回（日曜日）の全体集中作業と週1回（日曜日）の分担作業を実施		イチハツ・スイセンの植込み	灌 水	除 草	掃 除	こも巻き取り外し	地元自治会	○ イベント化	○	○	○	○ イベント化	地元小中学校等	◎ イベント化	○	○	○	◎ イベント化	市民活動団体	○ イベント化	○	○	○	○ イベント化
	イチハツ・スイセンの植込み	灌 水	除 草	掃 除	こも巻き取り外し																				
地元自治会	○ イベント化	○	○	○	○ イベント化																				
地元小中学校等	◎ イベント化	○	○	○	◎ イベント化																				
市民活動団体	○ イベント化	○	○	○	○ イベント化																				

4 実現性について

整備計画について、関係者との調整状況等を記入してください。	整備対象エリアは、道路（国道1号）及び河川（二級河川今井川）にまたがるため、横浜市道路局（建設課・橋梁課）、同環境創造局、保土ヶ谷土木事務所、保土ヶ谷区区政推進課との協議・調整を行った。 松並木プロムナード構想についての理解を得ることはでき、公共空間に松を植樹することについて基本的な了承をいただくことができた。 今度、管理内容（管理区分）及び管理費用（行政負担・地域負担）についての協議を進めることとなっている。
-------------------------------	--

5 地域まちづくりへの発展性について

整備をきっかけに地域のコミュニティ形成やまちづくり活動が発展する可能性について、記入してください。	（世代を超えた地域活動の定着・地域愛着の向上） ・ 松並木の維持・管理に地元区民（近隣自治会、地元小中学生他）が参画することにより、数十年の時間をかけて（世代を超えて）守り育ててゆく地域文化が定着する。 ・ 地域の歴史・文化を再認識してもらうきっかけとなり、旧・東海道保土ヶ谷宿の“新・ふるさとの景観”が育まれることで、地域への愛着が高まる。 （他の活動団体等との交流促進） ・ 松並木を通じて、他の旧・東海道宿場町の市民活動団体との交流がより促進される。 ⇒松の移植交流などは、複数の宿場町間で既に実施されている。
---	---

6 特にPRしたい点

整備提案について、特にPRしたい点があれば、記入してください。	（保土ヶ谷区制80周年記念事業の目玉として） ・ 松並木の植樹が完了する平成19年は、保土ヶ谷区が区政80周年を迎える記念すべき年であり、松並木プロムナードは、“区民主体で進められる保土ヶ谷区区制80周年記念事業の目玉”として捉えることも可能である。 （松並木プロムナードの積極的な利用促進） ・ 旧・東海道保土ヶ谷宿を代表する新しい“歴史的景観モデル地区”として位置付け、他の歴史的拠点とのネットワーク化を図ることで、街並み散策イベント等における休憩・立ち寄り処として活用したい。 また、ほどがやガイドボランティアコースに加えるなど、積極的な活用を図っていきたい。
---------------------------------	--

東海道保土ヶ谷宿 松並木・一里塚等再創造プロジェクト 松並木プロムナード整備対象範囲 位置図



▲県立光陵高校敷地内の松並木
(保土ヶ谷区権太坂1丁目)



▲旧東海道の松並木
(神奈川県中郡太磯町)



▲神明社



▲金沢横町道標



松並木プロムナード整備対象エリア

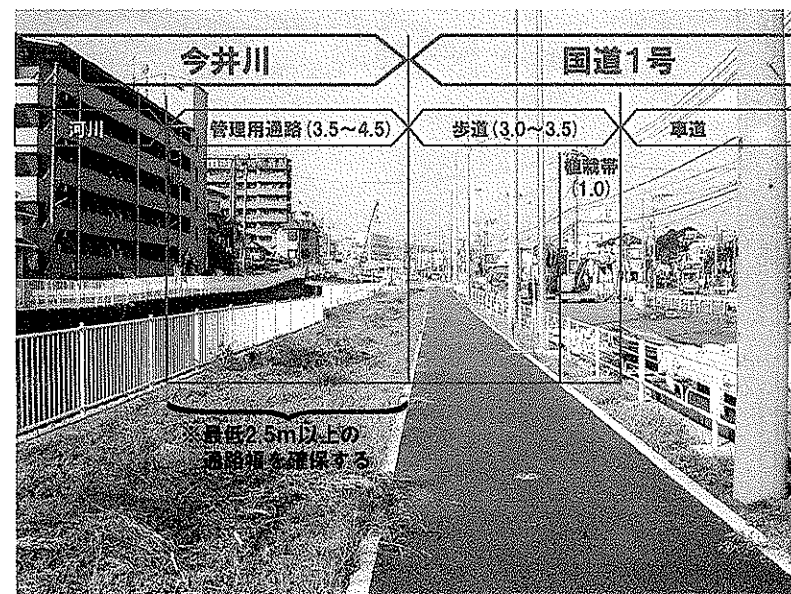
凡例

- 民間サイン
- 民間マップ
- 説明サイン
- 民間導標
- 歴史スポットモニュメント
- 公共サイン
- 区マップ
- 説明サイン
- 区導標
- 公園・緑地
- オープンスペース

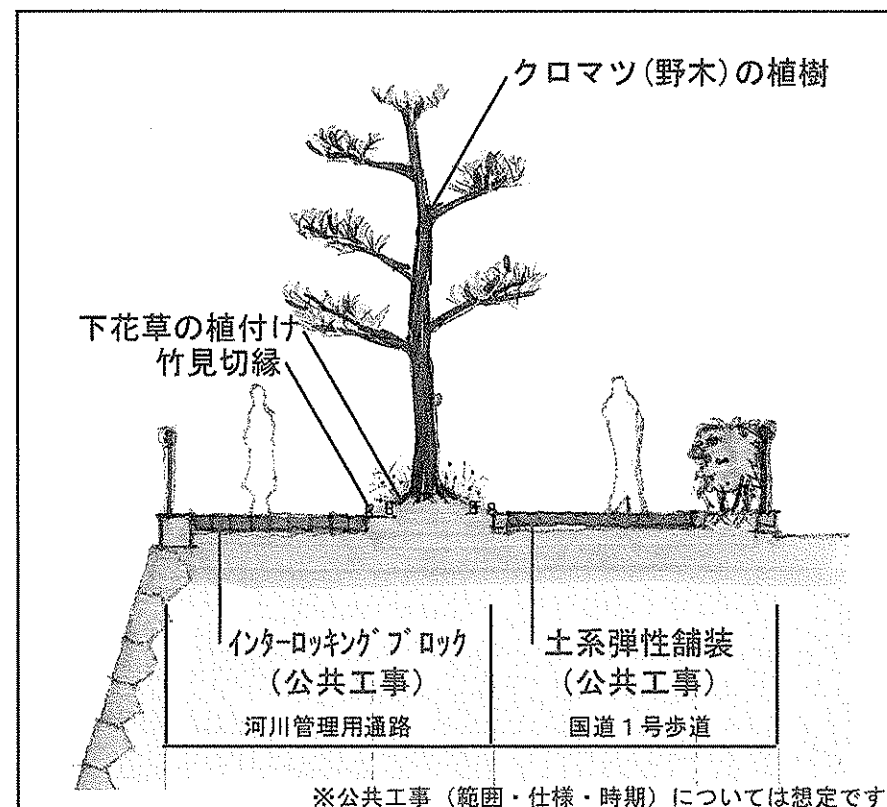
0 100 300 600 1000(m)

S=1/10000

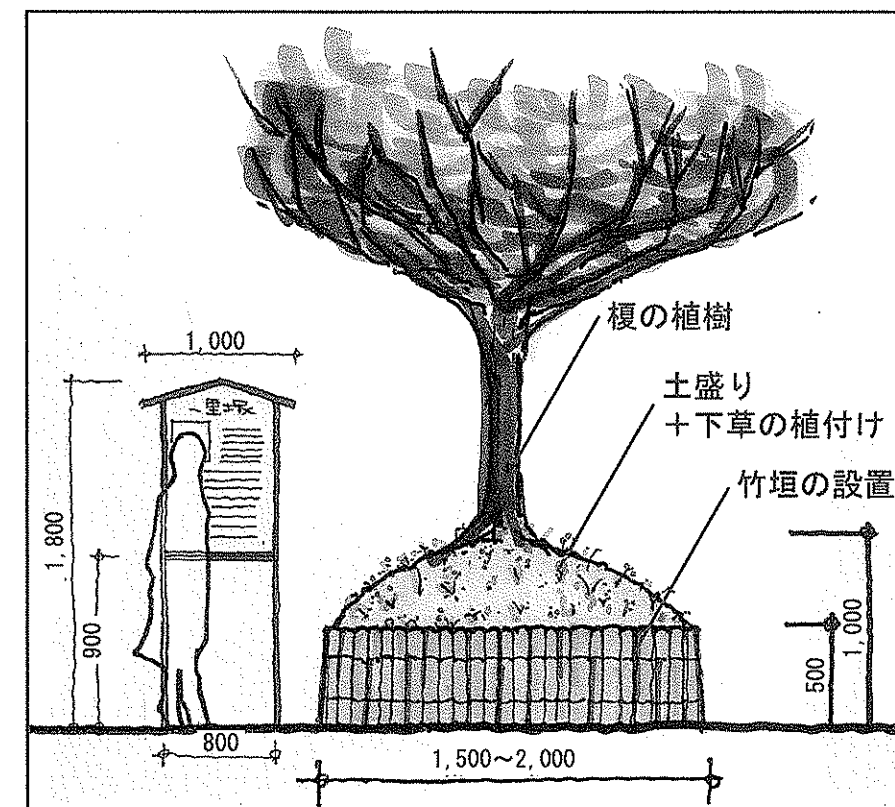
東海道保土ヶ谷宿 松並木・一里塚等再創造プロジェクト
松並木プロムナード整備対象エリア 平面図



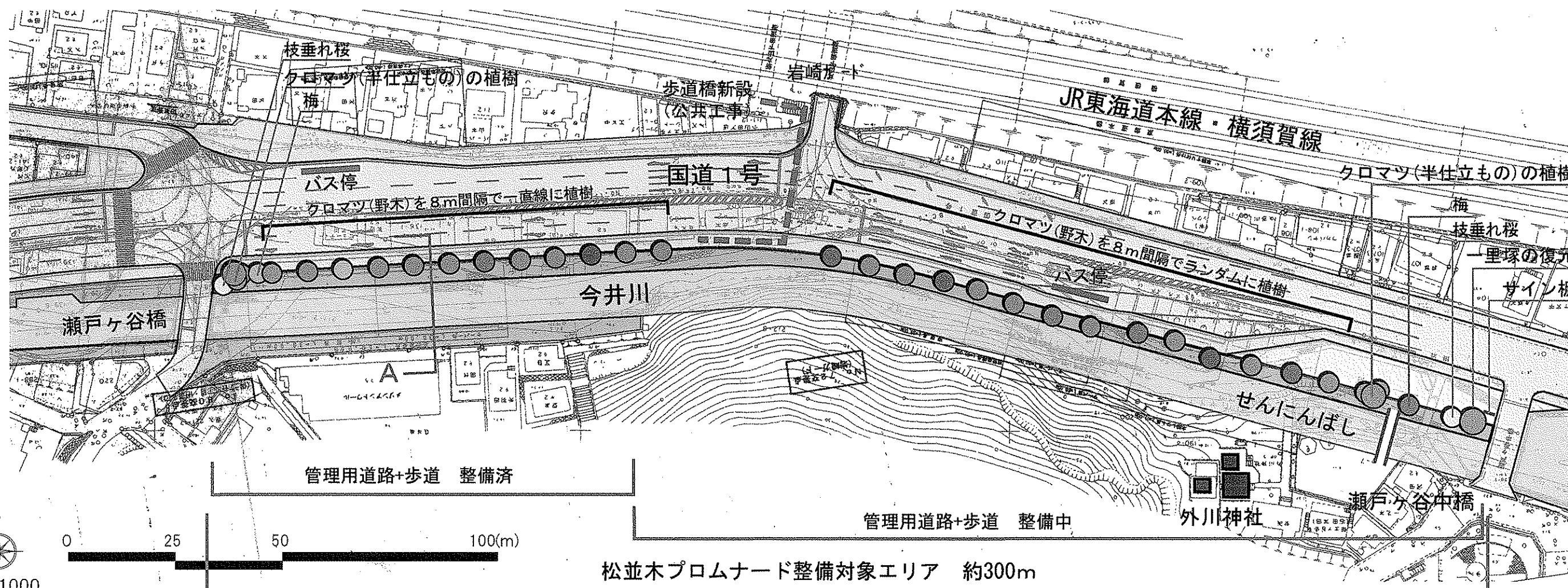
■整備対象エリアの現況（A断面）



■松並木（一般部）の整備イメージ



■一里塚とサイン板の整備イメージ



S=1/1000

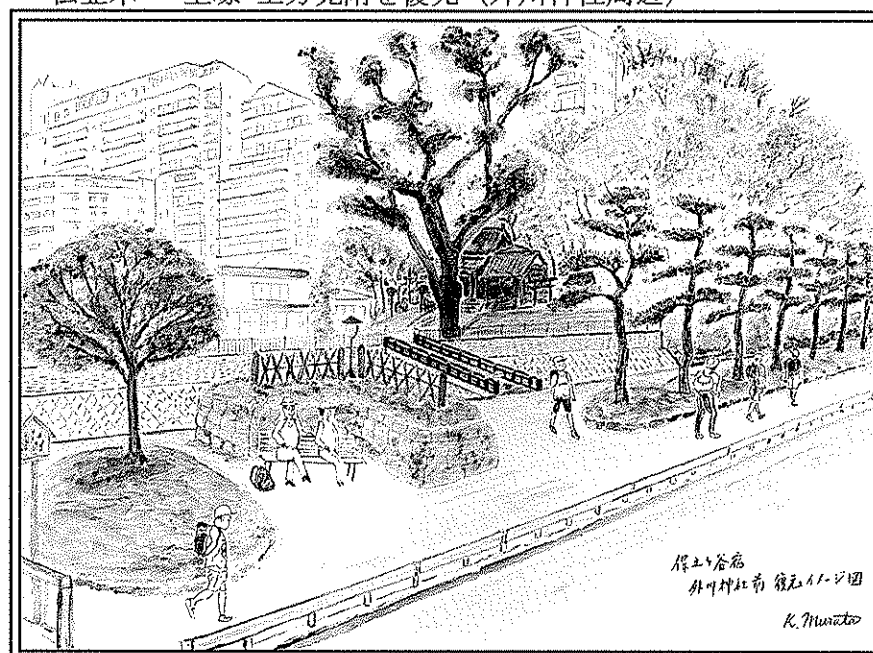
東海道保土ヶ谷宿 松並木・一里塚等再創造プロジェクト
完成予想図

本プロジェクトは、松並木の
植樹が完了してから スタート！



松並木植樹完了時イメージ（平成19年）
・野木の高さ：3～4m

松並木プロムナード構想 当初イメージ
・松並木・一里塚・上方見附を復元（外川神社周辺）



数十年後、
保土ヶ谷を代表する
新・ふるさと景観が完成！

世代を超えての維持・管理



数十年後イメージ
・クロマツの高さ：20m～



松並木プロムナードイメージ
（大磯町の松並木）



ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費積算内訳書

項 目	細 目	内 訳 (単価×数量) 注1)	整備費 小計 (円)	助成申請額 (円) 注2)
設計費	設計費	一式	483,000 円	483,000 円
	(地元・行政協議会)			
	現場監理費	8 人工	168,000 円	168,000 円
工事費 (資材費や機器リース料等も含む)	クロマツ	187,740 円×2 本	375,480 円	375,480 円
	(半仕立 H=4.5)			
	クロマツ	127,260 円×2 本	254,520 円	254,520 円
	(半仕立 H=3.5)			
	クロマツ	72,450 円×2 本	144,900 円	144,900 円
	(半仕立 H=3.0)			
	クロマツ	63,630 円×26 本	1,654,380 円	1,654,380 円
	(野木、上物)			
	エノキ	68,670 円×1 本	68,670 円	68,670 円
	(一里塚用)			
	シダレザクラ	91,350 円×2 本	182,700 円	182,700 円
	(H=4.0)			
	シダレウメ	114,030 円×2 本	228,060 円	228,060 円
	(H=3.0)			
	諸経費	支柱工、客土等、上記樹木の植込にかかる費用一式	436,306 円	436,306 円
	一里塚	客土、土盛工事一式	140,000 円	140,000 円
	(W2,000×H1,000)			
	サイン板	300,000 円×1 箇所	300,000 円	300,000 円
	(1,800×1,000)			
	下草花の苗、球根	一式	80,000 円	80,000 円
	(イハツ、スヒン他)			
	一里塚、植栽帯 足元の竹垣	一式	200,000 円	—

その他	備品物置設置工事(1,530×927)	74,000 円×1 箇所	74,000 円	74,000 円
	工事材料、道具 その他備品・雑費	一式	409,984 円	409,984 円
合計			5,200,000 円	5,000,000 円

想定整備費積算内訳書についての補足説明やPRしたい点があれば、記入してください。	・下草花や一里塚・植栽帯足元の竹垣設置にかかる費用は、委員会で負担する。 ・地元小学校の校庭で、給食残飯から肥料をつくり使用することも検討中。 ⇒既に、近隣の小学校では、給食残飯で肥料をつくっている。
--	--

注1) 内訳欄は経費等を除き、原則として「一式」表示をしないでください。参考見積書も同様としてください。

注2) 整備助成申請額の総額は500万円以内としてください。

注3) できるかぎり参考見積書を添付してください。

東海道保土ヶ谷宿 松並木プロムナード実行委員会 組織図(案)

